
4 9 1 0. 内国貨物運送到着確認

業務コード	業務名
DCA	内国貨物運送到着確認

1. 業務概要

システムにより行われた内国貨物運送申告について、運送先へ到着後、到着確認した旨の登録を行う。

2. 入力者

(1) 航空の場合

航空会社、保税蔵置場、混載業

(2) 海上の場合

保税蔵置場、船会社、船舶代理店、C Y、海貨業

3. 制限事項

1 業務で入力可能な内国貨物運送申告番号は、最大 5 件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通仕様書」参照。

(3) 内国貨物運送申告 DB チェック

①入力された内国貨物運送申告番号に対する内国貨物運送申告 DB が存在すること。

②内国貨物運送申告を承認した旨が登録されていること。

③入力された内国貨物運送申告番号に対する内国貨物運送申告が取消しまたは手作業移行されていないこと。

④入力された内国貨物運送申告番号に対する内国貨物運送申告が到着確認されていないこと。

⑤入力された到着地港が入力された内国貨物運送申告番号に対する内国貨物運送申告 DB の到着地港と同一であること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 内国貨物運送申告 DB 処理

①到着確認した旨を登録する。

②削除表示を設定する。

(3) 到着確認通知先官署決定処理

入力された到着地保税地域コードに基づき、到着確認通知先官署を決定する。

ただし、到着地保税地域コードが入力されなかった場合は、到着地港に基づき、到着確認通知先官署を決定する。

なお、到着地管轄税関官署コードが入力された場合は、入力された官署とする。

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
内国貨物運送到着確認 通知情報	なし	到着地税関 (監視担当部門)
内国貨物引取確認通知 情報	要確認・要施封表示が登録されていない場合	入力者